

動物用医薬品

要指示

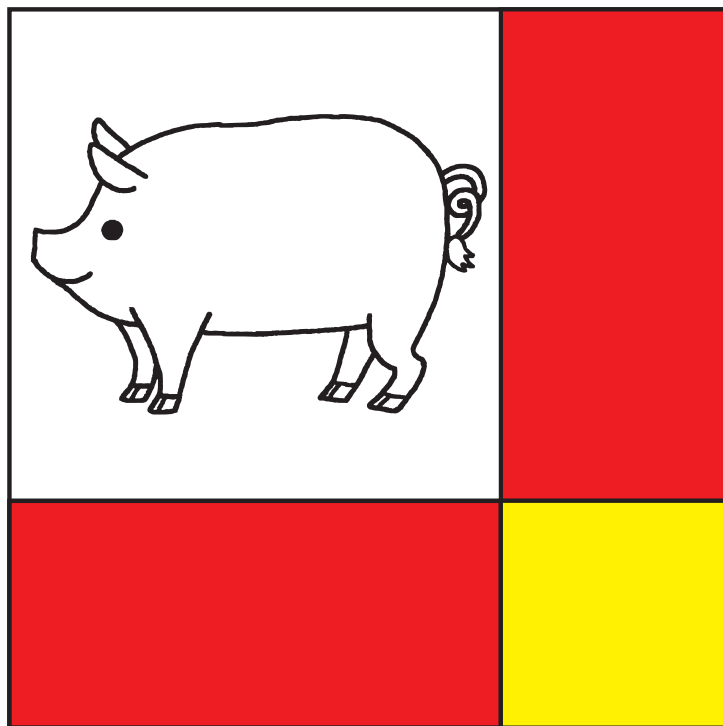
指定

使用基準

劇

20kg

フロルフェニコール散0.5%「タムラ」



【成分及び分量】 本品は100g中フロルフェニコール0.5gを含有する。

【効能又は効果】 有効菌種 アクチノバシラス・プルロニューモニエ

豚：胸膜肺炎

【用法及び用量】 飼料1t当たりフロルフェニコールとして下記の量を均一に混じて経口投与する。

豚：20～40g

又は、1日体重1kg当たりフロルフェニコールとして下記の量を飼料に均一に混じて経口投与する。

豚：1～2mg

【貯 法】 密閉容器 室温保存

製造販売元



田村製薬株式会社

埼玉県入間郡越生町成瀬829番6号

製造番号

使用期限



ラベル



LDPE

(D1611)

フロルフェニコール散0.5%「タムラ」

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、チアンフェニコール系合成抗菌物質であるフロルフェニコールを主剤に、脱脂米ぬかを賦形剤として調製した、豚の胸膜肺炎を治療する目的の飼料添加剤である。

【成分及び分量】

| | |
|------|--------------------|
| 有効成分 | フロルフェニコール |
| 含 量 | 本品100 g 中に0.5 g 含有 |

【効能又は効果】

有効菌種 : アクチノバシラス・プルロニューモニエ
適 応 症 : 豚…胸膜肺炎

【用法及び用量】

飼料 1 t 当たりフロルフェニコールとして下記の量を均一に混じて経口投与する。

豚 : 20～40 g

又は、1 日体重 1 kg 当たりフロルフェニコールとして下記の量を飼料に均一に混じて経口投与する。

豚 : 1～2 mg

【使用上の注意】

「基本的事項」

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、週余にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意:本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

豚 : 食用に供するためにと殺する前 3 日間

(使用者に対する注意)

- ・飼料等に混合する際は、防護メガネ、マスク、手袋等を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合や、有効期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避けるため、また品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤が誤って使用者の目、鼻、口等に入った場合は、直ちに水で洗浄やうがい等を行い、医師の診察を受けること。
- ・本剤を使用した後あるいは皮膚に付着したときは石けん等でよく洗い、水で充分うがいをする。

(豚に関する注意)

- ・本剤は飼料に添加し、豚にのみ投与するように製剤化されているので、他の種類の動物には使用しないこと。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱上の注意)

- ・開封後は速やかに使用すること。

注意－獣医師等の処方箋・指示により使用すること

注意－使用基準の定めるところにより使用すること

【有効期間】

本剤の使用期限は表ラベルに記載する。

【包 装】

20kg/PE内装クラフト紙袋

【製品情報お問い合わせ先】

田村製薬株式会社

〒350-0404

埼玉県入間郡越生町成瀬 8 2 9 番 6 号

TEL:049-292-2150

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記 【製品情報お問い合わせ先】 に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。